

2016 December

12
No.61

The Kashiwara

Mihariban

かしわら見張り番

発行所 かしわら見張り番



代表 はまうら佳子
〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX: 072-977-8782
info@yoshiko-hamaura.com

「98歳で認知症」の人でも安心できる場を！



98歳
認知症の
母の笑顔



自宅での
誕生会

熊本地震、鳥取地震と続き、日本中どこにいてもいつ災害がやってくるかわからない状況である。そこで問題になるのが避難所である。高齢者や障がいのある方・乳幼児らのために多くの市町村で「福祉避難所」が設けられているが、7割以上がニーズに合っていないといわれている。

**地域で高齢の方たちを見守ろう！
高齢者のために民間の避難所をつくろう！**

この問題に取り組みたいと考えているのが、柏原市議員の濱浦佳子議員である。「私の母は98歳で認知症も進んでいます。できるだけ自宅で介護したいと頑張っていたのですが、今はグループホームでお世話になっています。母のことで、高齢者を介護している人の気持ちがよくわかりました」と話す。

「在宅介護はたいへんです」としみじみ語る濱浦議員。「老老介護の方も増えていますが、1人で抱えられる問題ではありません。地域みんなで見守るべきものです」と断言す

る。特に、災害が起こった際に困るのが避難所である。認知症や寝たきりの高齢者が行ける「福祉避難所」は少なく、必ずしも自宅のそばにあり、災害時にすぐ行けるわけではない。そこで、濱浦議員が想を練っているのが、「民間の避難所」である。柏原市の民間の住居を耐震強化し、できるだけ点在させるのが構思だ。

自宅をそのような避難場所にしたいというう濱浦議員。実現に向けて、着々と構想を練つて、いるそうだ。

家族に
囲まれ
嬉しそう



嬉しくて
涙する母